

発 言 通 告 書 （ 質 問 ）

次のとおり、(1. 一般質問) 2. 施政方針に対する質問 3. 緊急質問) の通告をいたします。

平成 21年 9月 日

富士市議会議長様

富士市議会議員 小池智明 印

受 付 No. 平成 年 月 日 午(前・後) 時 分 受理者

(小池智明議員 2- 1)

発言項目	コンベンションの振興について	
	要 旨 (具体的に記入してください)	答弁を求める者
	<p>本市の観光交流への取り組み方針を示した「富士市観光交流まちづくり計画」では、今後の観光交流の柱として「コンベンション振興」を位置づけている。</p> <p>コンベンションは、各種企業や団体の会議、学会、見本市、スポーツ大会等のことであり、その開催に伴う宿泊、交通、飲食、アフターコンベンションと言われる大会後の周辺観光などによる直接的な消費効果に加え、コンベンションを通じたその地域からの情報発信効果など、裾野が広く、さまざまな産業への波及効果が高いと言われている。</p> <p>データは少し古いですが、例えば、平成 16 年 7 月に静岡のグランシップで開催された「第 57 回全国公立高等学校事務職員研究大会」、つまり高校の事務職員の方々の全国研修会は、4 日間で 2, 150 名の宿泊参加があり、一人当たりの平均消費額が 45, 000 円、アフターコンベンションも含めた全体的な経済効果としては 3 億 100 万円あったと推計されている。またスポーツ関連では、同じ平成 16 年 10 月に静岡市中央体育館を会場に開催された「第 38 回全日本社会人卓球選手権大会」は、3 日間で 930 名の宿泊参加があり、一人当たりの平均消費額が職員研修会と同様 45, 000 円、全体的な経済効果は 1 億 2, 000 万円あったそうである。</p> <p>これらは、全国的な大会を静岡に誘致し開催したものだが、プラモデルなどの地場産業の育成という観点から、静岡市がバックアップして開催している産業見本市「静岡ホビーショー」は、実質 2 日間で全国・世界から 8 万人が来場し、「ホビーのまち・静岡」のブランド定着に大変役立っていると評価されている</p>	市長及び 担当部長

<p>こうした中、昨年4月には、見本市等のコンベンションの受け皿となる富士市産業交流展示場・ふじさんめっせがオープンした。また同月に、富士市だけでなく環富士山地域の観光交流を牽引し、その取り組みの柱の一つに、「コンベンション」を明確に位置づけた富士山観光交流ビューローが設立・稼働している。</p> <p>本年4月に発表された「ふじさんめっせ平成20年度稼働状況報告」によれば、年間の来場者数は235,786人、稼働件数、稼働日数、日数稼働率は、それぞれ当初目標値の57件、197日、54.2%に対し、302件、265日、76.1%の実績となっている。</p> <p>また、市長が理事長としてスタートした富士山観光交流ビューローも、設立2年目を迎え、役所の観光課と連携・役割分担しながら、各種コンベンション開催・誘致への積極的な取り組みとともにその成果が求められる時期を迎えていると考える。</p> <p>こうした中で以下の3点について質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ふじさんめっせがオープンして1年半経過したが、その成果を、①地域産業の振興、②観光交流の振興、それぞれの観点からどう評価するか 2 富士山観光交流ビューロー設立後、コンベンションの開催（市内及び富士地域の団体・機関が主催）、コンベンションの誘致（富士地域以外・県外の団体・機関が主催）に向けてどのように取り組み、成果はどうだったか 3 今後、コンベンションの開催・誘致に向け、しっかりしたマーケティングと主催団体やそのキーパーソンとの関係づくり、そして地道な営業活動が必要と考えるが、どのように取り組んでいくか 	<p>市長及び 担当部長</p>
---	----------------------

発言項目	電動アシスト自転車購入補助制度の導入について	
	要 旨 (具体的に記入してください)	答弁を求める者
	<p>富士市は、市街地が低密度に拡散し、日常の移動手段として自動車に大きく依存したまちの構造となっている。</p> <p>しかし、今後の人口減少・高齢化の進展や地球環境問題への対応等を考えた場合、集約型の都市構造、つまり市長が常々言っている「コンパクトシティ」への再編を計画的に確実に進めるべきであり、そのためには過度に自動車に依存せず、徒歩や自転車、公共交通など、さまざまな交通手段で安全・安心に移動できるような取組みが求められると考える。</p> <p>ところで、我々富士市民が、最も日常的に自動車を使うのが通勤である。この結果、朝夕を中心に市内各所で交通渋滞が発生し、交通事故、中でも高齢者の交通事故発生件数が近年大きく増加している。</p> <p>また、渋滞時に大量に排出されるCO2等による環境面への影響も大きな問題である。</p> <p>こうした中、全国各地で自転車や公共交通へのシフト、自動車の相乗り等を中心とした「エコ通勤」への取組みが広がっている。</p> <p>「富士市環境基本計画」改定にあたり、本年7月に実施した市内企業へのアンケート調査の中で、「環境配慮のための具体的な対策」を聞いている。計29の対策事例の中で、「従業員のエコ通勤の推進」は、「既に実施している」割合が13.4%で、29対策中24番目と取組み割合順位は低い。一方、「今後取り組む予定」としている割合は32.8%と29対策中2番目に高く、相当数の企業の取組みへの意向が伺われる。</p> <p>私は、富士市においては、現在取り組んでいるバス等の公共交通活用策はもちろんだが、比較的短距離の通勤の際には、自転車を中心とするエコ通勤の取組みが現実的、効果的であると考えます。</p> <p>一方自転車は、通勤だけでなく、身近な買い物、移動等にも便利な乗り物である。</p> <p>しかし、富士市は地形的な特徴から、市街地から少し北に向かうと富士山の傾斜地が続く。また平坦地であっても風が強い場合や高齢者の方にとっては乗りにくいなど、自転車の使いにくさも指摘される。</p> <p>だが、近年全国的に普及が進む電動アシスト自転車であれば、そうしたハンデを比較的容易に乗り越えることができると考える。</p> <p>こうした中で以下の3点について質問する。</p>	<p>市長及び 担当部長</p>

<p>1 これからのまちづくりとそこでの自転車交通施策のあり方をどう考え、進めるか</p> <p>2 市内企業・団体等も巻き込みながら、自転車を中心としたエコ通勤を促進すべきと考えるがいかがか</p> <p>3 市内の通勤、買い物等、身近な移動に多くの人が自転車を利用しやすくなるよう、電動アシスト自転車購入補助制度を導入すべきと考えるがいかがか</p>	市長及び 担当部長
---	--------------